

中鹿追地区土地改良事業計画概要書

1 目 的	本地区では国営事業および道営事業により暗渠排水等の生産基盤整備が行われてきたが、近年の異常気象等による排水不良をはじめ、傾斜や石礫により営農作業に支障をきたし、機械作業効率及び生産性の低下を招いている。他にも現況の農道が砂利道であるため、粉塵の発生に伴う作物の品質低下など問題が発生している。このため、農道を含め区画整理、暗渠排水、土層改良を一体的かつ総合的に整備することにより、ほ場条件の均一化を図ることで低コストで高品質な農作物を生産し、耕畜連携による鹿追型農業の安定を図る。									
	2 地域 の 所 在 及 び 現 況		(1) 地域の所在 北海道河東郡鹿追町							
			(2) 地域の現況							
	ア 地 形		本地区は鹿追町中央部に位置し、然別川の東側に広がる平坦な地形である。							
	イ 土 質		非固結火成岩・非固結水成岩を母材とする、風積及び水積土							
	ウ 土 壤		褐色低地土・厚層多腐植質多湿黒ボク土・細粒灰色台地土							
	エ 気 象		(観測所：鹿追)							
	平均気温		6.1℃		かんがい期平均気温		15.4℃			
	平均降水量		908.2mm		最深積雪深		80cm		平均降水日数 120.4日	
	根雪期間		12月11日～3月20日		無霜期間		5月17日～10月9日			
	オ 水利状況		国営かんがい排水事業、道営畑総事業等により、畑地かんがい用水施設及び排水路が整備されている							
	カ 営農状況		本地域では、主要作物である小麦・てんさい・ばれいしょ・豆類について、適期管理作業を徹底することで、高品質化と生産性の向上を図っている。さらに、野菜等の導入による所得向上にも取り組んでいる。特にキャベツは鹿追町の第5の基幹作物として位置づけられ、「とちか高原キャベツ」の名称で全国へ出荷されている。							
	キ 地域環境の概況		豊かな自然（森林、河川、生物）に恵まれ、広大な畑作・放牧風景、防風林等の独特の農業景観を有しており、都市・農村交流等の地域活性化に寄与している。							
			(3) 地積及び受益戸数							
			地目							
区分		田 (ha)	畑 (ha)	山林・原野 (ha)				計 (ha)	受益戸数	
農業用道路		現況		31.9				31.9	戸 4	
		計画		31.9				31.9		
区画整理		現況		410.0	2.9			412.9	戸 24	
		計画		412.9				412.9		
		現況								
		計画								
全体		現況		426.1	2.9			429.0	戸 25	
		計画		429.0				429.0		
3 基 本 計 画	(1) 事業計画内容 地区内の営農阻害要因を解消するため、農業用道路及び区画整理を総合的に実施し、生産性の向上及び作業効率の向上など地域農業の発展・安定化を図る。									
	(2) 環境との調和への配慮 工事にあたっては降雨時の工事を避けて、収穫後の降雨量の少ない時期に工事を行い、周辺河川への土砂や汚濁水流出を防ぐとともに、立木の伐採は極力避けるなど、周辺環境への影響を少なくするよう配慮していく。									
4 工 事 又 は 管 理 の 要 領	主 要 工 事 計 画	事業種			受益面積			事業量及び事業内容		
		農業用道路			31.9 ha			農道 1条 L=320m		
		区画整理			412.9 ha			整地 A=412.9ha 暗渠排水 A=93.8ha 除礫 A=134.3ha		
	造成又は改良	施設名		管理団体名				管理方法		
される施設の 管理方法等	農業用道路		鹿追町				施設補修及び草刈り等の維持管理			

5 換 地 計 画 の 要 領	(1) 換地計画樹立の必要性												
	(2) 換地計画樹立の基本方針												
	ア 従前の土地の地積の基準												
	イ 農用地集団の方法												
	換地区		地帯別、グループ 別団地の設定		位置選択		1戸当たりの目標団地数		区画畦畔の取り扱い				
	ウ 非農用地の換地方針												
	換地区		種類	非農用地区域 の位置の概略			面積 ha	換地の手法	換地取得 予定者	その他			
	エ 清算の方法												
(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積													
換地区		機能交換に係る土地				一般公有地		合計					
		国有地		道有地		市町村有地		計 ha	ha	ha			
		ha		ha		ha		ha	ha	ha			
(4) 換地処分の時期に関する特則													
6 費 用 の 概 算	事業種		事業費		負 担 区 分					工期			
					国		道		地元				
	本事業費		千円 1,500,000		千円 825,000		千円 420,000		千円 255,000		R9～R16		
	農業用道路		87,000		47,850		24,360		14,790				
	区画整理		1,413,000		777,150		395,640		240,210				
	指導事業		160		88		72						
	中心経営体農地集積促進事業		176,625		97,144				79,481				
	総事業費		1,676,785		922,232		420,072		334,481				
	7 効 用	農業用道路		(1) 事業の効用 別紙のとおり									
				(2) 事業効果額									
効果項目				食料の安定供給に関する効果		農業の持続的発展に関する効果		農村の振興に関する効果		多面的機能の発揮に関する効果		その他	
効果額（千円）				千円		千円		千円		千円		千円	
(3) 事業負担の見通し													
区画整理		(1) 事業の効用 別紙のとおり											
		(2) 事業効果額											
		効果項目		食料の安定供給に関する効果		農業の持続的発展に関する効果		農村の振興に関する効果		多面的機能の発揮に関する効果		その他	
		効果額（千円）											
		(3) 事業負担の見通し											
8 他 事 業 と の 関 係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法 なし								9 計画概要図 別図のとおり				
	(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法 なし								10 その他				

(全体)

(農業用道路)

(区画整理)

(1) 事業の効用 ほかの傾斜緩和、窪地の解消、併せて暗渠排水及び除礫を実施することにより、生産性及び作業効率が向上する。また、総費用総便益比2.06と1.0以上になっている。											
(2) 事業効果額		単位：千円									
効果項目	食料の安定供給の確保に関する効果	農業の持続的発展に関する効果	農村の振興に関する効果	多面的機能の発揮に関する効果	その他	計	総便益額	総費用	総費用総便益比	総所得償還率(%)	増加所得償還率(%)
年総効果(便益)額	144,672				17,205	161,877	2,759,791	1,335,276	2.06	9.1	-
年増加農業所得額	153,681					153,681					
現況年総農業所得額						218,898					
(3) 事業負担の見通し 事業費の負担については、総所得償還率は9.1%と20%以下となるため負担については問題ない。											